

3.11 東日本大震災を教訓とした災害等対策について

～ はじめに ～

3.11 東日本大震災の当日、東京では交通機能マヒ、通信機能不通など災害時の弱さが露呈されました。今後も東海沖や首都直下地震などが予測されており国をあげての対策が急がれますが、大切なお子様をお預かりする育子園では、3.11 を教訓に以下のとおり対策を講じました。

～育子園では大停電や大地震に備えて以下の物品を揃えました～

【想定】首都圏で大停電や大地震が発生し、交通・電話・インターネット網などが停止又は破壊され保護者は育子園と連絡がとれず、育子園でお子様を 2 泊 3 日程度お預かりする状態を想定。状況によっては全園児が法人本部大聖堂(杉並区和田 2-11-1：免震構造建物)へ徒歩で避難。

① 発電機を 3 台備えました。



- ガソリン式、1600W(16A)を 3 台備えました。
- 排気ガスに配慮しながら園庭で運転し、ケーブルで 1～3 階保育室に電力を供給します。
- 保育室内の非常用電灯、扇風機(夏季)、パソコン、テレビ、ラジオ、携帯電話等が使用できます。

② ミネラルウォーター500ℓを備えました。



- (株)秩父源流水のナチュラルミネラルウォーター「秩父源流水(軟水)」を常時 500ℓ(10ℓ×50 箱)備えました。
- 現在も育子園ではこのミネラルウォーターを日常的に使用しています。

③ やわらかい缶入りパンを備えました。



- (株)パン・アキモトの「缶入りパン」です。
- やわらかく薫り高いパンで、保存期間 13 カ月です。
- 年に 1 回おやつとして提供します。
- 食物アレルギーのお子様には、白米等を用意します。

④ 簡易トイレを備えています。



- 以前から備蓄している段ボール製の簡易トイレです。
- 高分子吸水樹脂、食添殺菌剤入りで衛生的です。